

## トップメッセージ

# YAMAMURAの心と技術を世界に伝え、 社会に必要とされる企業として成長していきます。

### 大災害に事業の原点を再認識

今般、東日本大震災で亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

山村グループにおきましては関東の事業所が被災しましたが、幸い人的な被害はありませんでした。被災した事業所では操業を一時停止いたしました。できる限り早期復旧に努めました。

このたびの震災においては、“人”こそ事業の根本であるということに改めて認識いたしました。製造設備や資材は被災しても修理、交換が可能です。が、“人”は、決して代替できるものではありません。当グループの企業理念に“事業は人なり”とありますが、事業を始めるのも“人”ならば、発展させるのも復興するのも“人”であることを実感した次第です。“事業は人なり”を肝に命じ、一人ひとりが能力を十分に発揮できる企業を目指し、すべてのステークホルダーとの信頼関係をさらに深めていきたいと考えています。

### ビジョン実現に力を結集

現在当社では2014年創業100周年を見据えて“世界のYAMAMURAへ—心と技術を伝えたい—”を目指すべき姿=ビジョンとして、海外展開を推進していますが、ここでもやはり大切なことは一人ひとりが日常業務でその能力をいかんなく発揮することです。国内の生産技術が優れているからこそ海外に展開できるのです。社長に就任以来、従業員との対話を行ってきましたが、その中で、さまざまな個性や考え方を持つ多様な人々がそれぞれの能力を発揮することが会社という組織の発展には不可欠であると思に至りました。自分の仕事の世界につながっていることを経営層も含め当グループのすべての従業員が認識し、それ

ぞれの持ち場で真剣に職務を遂行していきます。

海外展開は当グループに成長をもたらすだけでなく、海外の人々に必要とされる技術やノウハウ、サービスを提供し社会の発展に貢献するという“企業責任”を果たしてゆく上でも重要です。当グループが培ってきた、人を信じる心を大切にす“商いの心”、より良いものを生み出してゆく“匠の技”を、一人ひとりが力を合わせて、世界の人に伝えたいと考えています。

### 永続的発展にCSRは不可欠

さて企業の社会的責任あるいは使命を意味するCSRという考え方はわが国ではまだ歴史が浅く、当グループにおいても試行錯誤の段階です。しかし、CSRは企業が持続的に成長していくために、ぜひとも必要な取り組みです。CSRとは何か、どんなことが求められるのかを模索しながらも着実に推進し、取り組みをステップアップしていきたいと考えています。今、明確に言えることは、“社会の一員であることを常に意識して行動しよう”ということです。これが、個人としても企業としても一番大切な行動基準であると考えられます。そして、社会に必要とされる企業であり、できれば尊敬される企業でありたいと願っています。

今後、長期的な観点でCSRに取り組み、すべてのステークホルダーとの良好な関係を維持することが当グループの永続的発展につながると信じています。この報告書をご高覧いただき、当グループの社会的責任への取り組みに対して、皆様のご理解を賜りたくお願い申し上げます。また、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

2011年6月

代表取締役社長 **山村幸治**

## 世界のYAMAMURAへ —心と技術を伝えたい—

創業100周年を超えて持続的成長を維持するため、アジアそして世界に誇れる“YAMAMURA”ブランドを確立する。

心と技術を伝え社会に貢献することで“YAMAMURA”ブランドを確立する。

国内既存事業や新規事業、海外事業が一体となってシナジーを発揮し、成長を続けることで“YAMAMURA”ブランドを確立する。

山村グループ全員でビジョンを共有し、“世界のYAMAMURAへ”挑戦する。

